

家庭防災の基本

避難に関する情報を正しく受け取りましょう。

警戒レベルとは…

警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。集中豪雨や台風によって水害や土砂災害などが発生するおそれがあるときに災害発生の危険度と住民がとるべき行動を市が発信しますので、災害情報に留意しましょう。

| 警戒レベル | 住民の行動 | 避難情報 | 情報発信源 |
|---------------------------------|--------------------------------------|-------------------|---------------|
| 警戒レベル5 災害が発生 または切迫 | 命の危険、 直ちに安全確保 | 緊急安全確保 | 市が発令 |
| レベル4までに必ず避難 | | | |
| 警戒レベル4 災害発生の 恐れが高い | 危険な場所から全員避難 | 避難指示 | 市が発令 |
| 警戒レベル3 災害発生の 恐れがある | 危険な場所から高齢者等は避難 | 高齢者等避難 | 市が発令 |
| 警戒レベル2 気象状況悪化 | 避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水注意報など | 気象庁が発表 |
| 警戒レベル1 今後気象状況悪化の恐れ | 防災気象情報などの最新情報に注意し、災害への心構えを高める | 早期注意情報 | 気象庁が発表 |

もう少し詳しく

◆警戒レベル5 命を守るため、直ちに安全を確保しましょう

市から警戒レベル5「緊急安全確保」が発令された場合には、すでに災害が発生しているか、切迫している状況になりますので、命を守るため、直ちに安全を確保しましょう。

警戒レベル5が発令された段階では、屋外への安全な避難が難しい場合があるので、レベル3、レベル4の発令時には、地域の皆さんで声を掛け合うとともに、空振りをおそれず安全にそして確実に危険な場所からの避難を行いましょう。

◆警戒レベル4 危険な場所から全員避難しましょう

市から警戒レベル4「避難指示」が発令された場合には、市が発令した対象地域の方は全員速やかに危険な場所から避難しましょう。しかし、避難所への避難がかえって危険を及ぼしかねないと思った際には、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋(2Fへの垂直避難等)への移動を行いましょう。

◆警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難しましょう

市から警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された場合には、避難に時間がかかるご高齢の方や障害のある方、乳幼児等と避難を支援する方は安全な場所へ避難しましょう。

◆警戒レベル2 避難行動を確認しましょう

気象庁から警戒レベル2「大雨注意報」や「洪水注意報」などが発表され、災害発生に対する注意が高まってきた場合には、ハザードマップで災害の危険性のある地域や避難所、避難経路をあらためて確認するなど避難に備え、自らと家族の避難行動を確認しておきましょう。

◆警戒レベル1 災害への心構えを高めましょう

気象庁から警戒レベル1「早期注意情報」が発表された場合には、災害発生の危険性はまだ低い段階ですが、最新の防災気象情報を確認するなど、災害への心構えを高めましょう。